



テーマ
榎田ユウリさんの本
図書館関連の本

第90号 **先生のおすすめ**
飯野先生・引地先生

だんだん寒くなってきました。皆さん、体調には十分気をつけて下さいね。さて、あの有名な、榎田ユウリさんの講演会が近づいてきました。この機会に是非、榎田さんの本を手にとってみて下さい。

題字 書家 二見紘子 先生
編集 4B Y.T. 4C Y.K.
カット・印刷 桃 H.S.
椿 A.I.
百合 K.N.
鈴蘭 M.S.

妖綺庵夜話 その探偵、人にあらず

榎田ユウリ KADOKAWA 913.6/E/1

人の遺伝子に人ではないものが発見されて、妖の遺伝子を持つ彼らは妖人と言われ、差別を受けます。ある日殺人事件が起こり、刑事や天真爛漫な妖人などに捜査の協力をしていくミステリー小説です。

榎田さんは、人の心の動きをととても丁寧に書いていて、妖人たちのやり取りが本当に生き生き描かれています。まるで、自分自身がお話の世界に入り込んでいるかのような気分を味わうことのできる新タイプの小説です。一度読むと、早く次のページをめくりたくなるような本です。 紫苑 A.S.

図書委員会では7月に有志による国会図書館見学を行いました。18歳以上であれば一般の人でも訪館することができます。11/20には榎田ユウリさんの講演会を行うので、ぜひ来てください。

カブキブ！1

榎田ユウリ KADOKAWA 913/E/1

この本は、歌舞伎が大好きな高校1年生の来栖黒悟が主人公のお話です。黒悟は、高校で歌舞伎部を作るために同好会を立ち上げ、自分たちで衣装も用意して歌舞伎をやり始め、様々な壁に当たりながら頑張っ解決していきます。

何かをやり出したいけど、勇気がない人におすすめです。主人公は自分の好きなことをあきらめずに頑張っているからです。そんなに厚くないので、スラスラ読めると思います。

芙蓉 S.I.

Tokyo 図書館紀行

玄光社 010/T



みなさんは、図書館に行くことはあるでしょうか。行っている、という方は、何をしに行っていますか。調べ物や勉強ばかりで、実は本はほとんど読んでいないという方もいるかもしれません。でもそれって、もったいなくないですか？せっかく図書館に行くのなら、読書もしてみてもどうでしょうか。

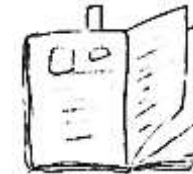
この本は都内の図書館を紹介しています。図書館はどこも同じではなく、建築や、置いてある本、雰囲気もそれぞれ違います。もしかしたらあなたにぴったりの図書館が見つかるかもしれません。 4D S.J.

この春、とうに死んでるあなたを探して

榎田ユウリ 筑摩書房 913.6/E21

37歳の主人公は、中学時代に住んでいた町に引っ越すことになりました。そこで同級生に会い、恩師が亡くなったことをしります。恩師が自殺だといううわさを聞き同級生に振り回されながらも、謎を解いていきます。

この本は細かな描写が多く、言葉使いが独特だと感じました。小学生のような心を持った同級生。そんな大人がいたらと想像すると、面白くなりました。話を読んでいくと、色んなことが繋がっていきわくわくする作品です。



桔梗 M.Y.

れんげ野原のまんなかで

森谷明子 東京創元社 913.6/M

色々な事情が重なり合って野原のど真ん中に立っている図書館で繰り広げられる物語です。様々な謎を主人公の文子や先輩司書が解いていく一般的にミステリーと分類される物語ですが、読んでいてほっこりします。

本屋さんや図書室を舞台にした物語はよく見かけますが、公共の図書館を舞台にした物語は少ないのではないかと思います。風景の描写がきれいなところが個人的なおすすめポイントです。本好きな人も、本好きでない人もきっと楽しんで読めるはず!!

5E M.H.

宮廷神官物語 I

榎田ユウリ KADOKAWA 913.6/E/1

聖なる白虎の伝説の残る国、麗虎国で宮廷神官の鶏冠が次の大神官を見抜くことのできる慧眼を持つ人物を探し、天青という少年に出会う。天青は初めは口が悪く、卑屈でしたが、鶏冠と共に王都へ向かうにつれて、視野を広げていく所から、成長が感じられます。鶏冠は女と間違えられるほどの美形で、肉好きといった少し面白い所もありますが、天青を必死で守るなど、優しいところもたくさん持つ人です。

登場人物それぞれの心の底にある優しい想いに心を動かされるファンタジー小説です。

鈴蘭 S.Y.

晴れた日は図書館へいこう

緑川聖司 ポプラ社 913.6/M/1



みなさんは、さいごに図書館に行ったのはいつですか？小さい頃、「雨の日くらいは図書館に行きなさい！」と言われた方もいるのではないのでしょうか。この本の主人公は、雨でも晴れでも図書館に行くのが大好きな女の子。彼女のいとこが働いている図書館によく行くけれど、そこではちょっと不思議な事件がたまに起きて…。

この本を読んだら、久しぶりに図書館へ行きませんか？晴れの日に行けば図書館の窓からいい景色が見えるかも。普段本を読まない人ほど、読んでほしい本です。

百合 H.H.

銀河鉄道の父

門井慶喜 講談社 913.6/Ka1

この本のあらすじは？

- 宮沢賢治の生涯を父・政治郎の目を通して語っています。

手に取ったきっかけは？

- 直木賞を最近獲ったから興味があって。

おすすめポイントは何？

- 中学生の時、国語の教科書で宮沢賢治の「鹿踊りのはじまり」を読んで、カタカナとか混じっていて、不思議な世界だと感じ、心惹かれたけれど、奇妙で怖くて読めなかった。けど、この本を読んだら普通の人間としての宮沢賢治が浮かび上がってきました。あと、雨二モマケズ、風二モマケズの詩が出てくるのですが、その解釈も私が思いもかけていなかったもので、とても興味深かったです。

6C K. M.

火怨

高橋克彦 講談社 913.6/T/1

推薦した理由はありますか？

- 私は読書ノートも担当していて、読書ノートでもおすすめの本は多いのですが、今回は読書ノートではない本がいいかなと思ってこれを選びました。高校生におすすめの本なので、少し難しいかもしれませんが。

どういった点がおススメですか？

- 登場人物のかけひきが面白いです。大河ドラマのような感じなので、歴史好きにもおススメです。

4C Y. K.



銀河鉄道の夜

宮沢賢治 岩波書店 913.6/M

誰もが目にしたことがあるこの本。しかし実は手に取って見たことがないひとも多いはず。そこで一歩踏みだして、この銀河鉄道の世界に入り込むと、私たちは、宇宙が抱く何とも言えない悲しみと、その中に潜む小さな光に心動かされます。言葉の力で描かれた不完全で曖昧な世界だからこそ、私たちに『感覚』として響く何かをこの本は持っています。宇宙とは何なのか、死とはどういうことなのか、ふと疑問に思ったとき、きっとこの本は答えを導き出す手助けをしてくれるはずですよ。

4B E. A.



飯野先生
おすすめ本
飯野先生
関連本

何者

朝井リョウ 新潮社 913.6/A83

私は、『銀河鉄道の父』と同様に直木三十五賞を受賞した『何者』を読みました。

この本は、五人の性格も将来の方向も違うバラバラな学生らが就活のために情報を交換するサークルを作り就職を目指すという話です。内定をもらうまでの緊張感や焦り、自分が“何者”になるのか分からないという不安感がリアルに描写されていて、いつか自分もこうなるのかと思うと少し怖くなりました。

朝井リョウさんの息を呑むような心情描写は一度読んでみて欲しいです。

6A M. T.

飯野先生
関連本

ぼくらの近代建築デラックス

門井慶喜・万城目学 文藝春秋 523,...

『銀河鉄道の父』で直木賞を受賞した門井慶喜さんと万城目学さんによって手がけられたこの本は、著者である二人が大阪・京都・神戸・東京の建築物について意見を交わす対談形式になっています。

2人の意見の相違や個性がとても興味深いです。著者たちの近代建築に対する視点を得ることができる知識本としてだけではなく、いつもと違った視点で建築物を見るヒントになるかもしれません。

6E S. B.



引地先生
おすすめ本

白狐魔記 源平の風

斉藤洋 偕成社 913.6/Sa25/1

私は平安時代が舞台の歴史小説という関連でこの本を選びました。この本は白虎魔丸という人間に化けることのできるきつねが源義経らに出会い、源平の乱に巻き込まれていく話です。シリーズ物なので、鎌倉時代や戦国時代などを舞台にした作品もあります。ファンタジー要素もあり、内容も分かりやすく読みやすいと思うので、今まで歴史小説を読んだことがないという人にもおすすめの作品です。

6D S. S.

炎立つ

高橋克彦 講談社 913.6/T/1

この本は、全5巻ある歴史小説です。東北で栄華を極めた奥州藤原氏の祖、藤原経清が、どのようにして東北を黄金の地にしたのか、という物語です。しかし、主人公は経清ではなく、経清の妻の父である安倍頼義だといふところがおもしろいです。源平の武士たちがまだ力をつけてきて間もないころの話で、奥州藤原氏と源氏の関係やどんな戦が起こったのかなど史実に忠実で歴史の勉強にもなります。セリフが多く、歴史モノが苦手な人でもするすると読めます。

4A M. O.



写楽殺人事件

高橋克彦 講談社 913.6/T

この本は、浮世絵界最大のミステリーといわれる絵師、東洲斎写楽の正体と、現実に起こる連続殺人事件を絡めた歴史ミステリーです。浮世絵を研究している主人公が、ある事をきっかけに写楽に興味を持ち、正体について一つの仮説を軸にどンドン謎の核心に迫っていく様子にひきこまれます。

ミステリーとしても楽しめますが、著者が浮世絵研究家であるため、浮世絵についても詳しく知ることができます。普通のものとは一味違うミステリーを楽しんでみませんか。

6B A. S.